

関西北陸ブロック ブロック学生委員会 # 1

概要

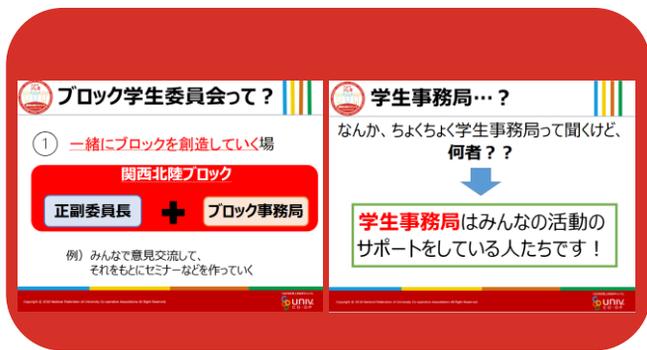
日程：2026年2月7日 13:00～17:00
場所：オンライン開催(Zoom)

参加者

富山大(6)、富県大(2)、福井大(2)、滋賀大(1)、奈高専(1)、龍谷大(3)、
京教大(2)、京工繊(1)、京府大(1)、滋県大(4)、同志社(1)、奈良教(1)、
奈良大(1)、奈良女(1)、立命大(4)、樟蔭女(2)、公立大(1)、兵県大(2)、
関学大(3)、阪南大(1)、大教大(1)、大経大(2)、大阪大(2)、和歌山(1)、
甲南大(4)、ブロック(22)



計28会員71名



01 開会式・26年度学生事務局紹介

全員で作上げる【ブロック】

ブロック学生委員会は、「ブロックをよりよくしていくために、出席者全員で一緒に考える場」であることを確認しました。

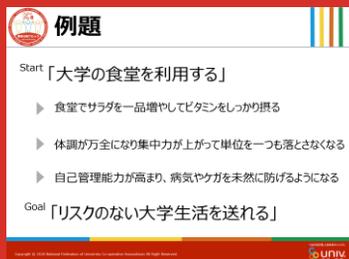
また、26年度学生事務局の役割について説明し、自己紹介を行いました。学生事務局は、会員生協の運営や学生委員会の活動をサポートする存在です。これからも、みんなで力を合わせながら、前向きに・楽しく・本気でブロックをよりよくしていきましょう！

02 アイスブレイク

「風が吹けば桶屋が儲かる」ゲーム

今回のアイスブレイクでは「風が吹けば桶屋が儲かる」ということわざに則り、スタートを「大学の食堂を利用する」などの【大学生活に関する出来事】、ゴールを「安心で快適な大学生活を送ることができる」のような【2030Goalsに関する出来事】にして連想ゲームをしました。

このワークを通じて、日常の小さな行動が社会的な目標達成に繋がるという「2030Goals」の本質に近い考え方を、遊びながら体験することができました。参加者は大喜利のような楽しさの中で生協のビジョンに触れ、充実した交流の時間を過ごしました。



楽しさと学習の両立ができる感じがして、新歓などで新入生向けにやってみて面白いかなと思いました！(滋賀大 2年生)

03 26年度ブロック方針・分野の時間

ブロック全体で目指す方向性

関西北陸ブロック方針が、各大学生協の方針および全国方針を踏まえた物であることを確認し、2026年度関西北陸ブロックの全体方針と4つの分野について共有しました。あわせて、各分野の大切にしたい視点や具体的な行動提案を通して、自大学の活動を分野の視点から捉え直しました。



4つの分野について詳しく知れただけでなく、自大学の弱いところを深掘りできたため持ち帰って26年度の運営に活かしたい。(大経大2年生)

04 学生委員募集の時間

募集を5段階で整理し、次の一手を決める

学生委員募集について、各会員の現状を共有しながら課題を整理しました。募集は「認知→定着」の連続プロセスとして捉え、弱い段階（ボトルネック）に焦点を当てて改善策を検討。GWを通して具体案を出し合い、各会員が次に試す一手を明確にすることができました。



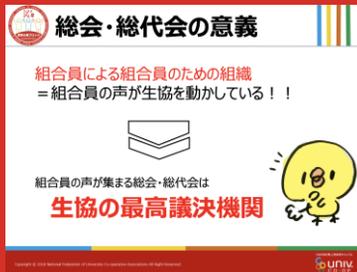
各大学の事例を共有し、5段階で整理することで、新入生への多様なアプローチを考えられた。
(滋慶大 2年生)

05 総代・総代会の時間

より良い総会・総代会に向けて

生協が「組合員による組合員のための組織」であることを再確認し、組合員の声が集まる総会・総代会の大切さとその意義を広めていく必要性を学びました。また、各大学の現状と理想を共有し、理想に近づくための行動について意見を出し合いました。

総会・総代会まであと少し。ブロック全体でより良いものにしていきましょう！

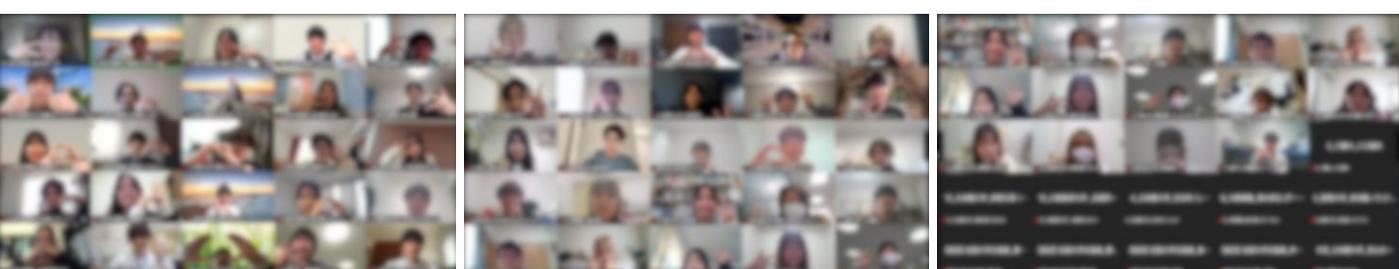


ここは難しい問題ではあるが真似できるような部分があり、おもしろかった。
(富山大1年)

06 エリアごとの時間

【ブロック】よりも近いつながりを感じる

最後の時間はエリアごとに分かれて交流しました。3エリアともに、「春のセミナー」「エリア交流会」「学生委員の引き継ぎ」について扱いました。ブロックよりも身近な人たちと交流し、想いを共有することで、似た悩みや想いを持つ人がいることを改めて感じる機会になりました。



次回のブロック学生委員会は...

2026年5月10日(日)

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！
次回もよろしくお願いします！



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [市堰 遼河]
Ichiseki.Haruka@univ.coop

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。